

ショート動画や切り抜き動画が生む 誤解とそのリスク



現在、SNSにおける短い動画、いわゆる「ショート動画」が人気となっています。また、長い動画の内容を短くまとめた「切り抜き動画」と呼ばれる形式も広く見られます。こうした動画は短くて見やすい反面、情報の伝わり方に注意が必要な場合があります。では、どのような点に気を付ける必要があるのでしょうか。

「ショート動画」と「切り抜き動画」

ショート動画とは、主にスマートフォンでの視聴を前提とした、数秒から数十秒程度の短い動画のことです。多くの場合、画面をスワイプ※すると次の動画に切り替わる仕組みになっており、短時間でたくさんの動画を視聴できるのが特徴です。また、切り抜き動画とは、長い動画の一部を抜き出し、短く編集編集したものを指します。ショート動画の中にはこの切り抜き動画も多く含まれています。

※スワイプとは画面に指を軽く触れたまま、任意の方向に指を滑らせる操作のこと

ショート動画・切り抜き動画の注意点

ショート動画の注意点

限られた時間の中で内容を伝えるため、言い方が簡潔になったり、印象に残りやすいように表現が誇張される傾向があります。その結果、本来の意味合いよりも極端な印象になったり、一面的な理解につながる場合があります。

切り抜き動画の注意点

長い動画の一部を抜き出しているため、本来の文脈や前後の説明が省略されている場合があります。そのため、発言の意図とは異なる受け取り方をされることがあります。

このようにショート動画や切り抜き動画は、見る人に事実とは異なる印象を与えてしまう可能性があります。フェイクニュースのように騙すことを目的とした情報とは異なり、**事実**に則した内容であっても、**見せ方や伝え方によって受け取り方が変わる**ことがある点に注意が必要です。

家庭での指導

ショート動画や切り抜き動画はわかりやすく、見やすく作られているので子どももついつい見てしまいがちです。ただ、その反面、ここまで述べたようなリスクもありますので、その性質を子どもと話して確認しておきましょう。「**内容が誇張されているかも**」、「**本来の内容が大きく省略されているかも**」といった、**見たままをそのまま受け取らない姿勢**を育てることが求められます。



様々な情報源に触れさせることも効果的です。